富里市議会議員

【討議資料】

井上やすし 議会活動レポート

本紙は富里市の抱える課題と私の考え主張をご紹介するものです。
議員としての活動を通じて市に訴え、または市民として実践しています。
是非お読みいただき、関心をもっていただけたら有難いです。

公式 HP もぜひご覧ください。
https://inoueyasushi.com

井上　富里　検索

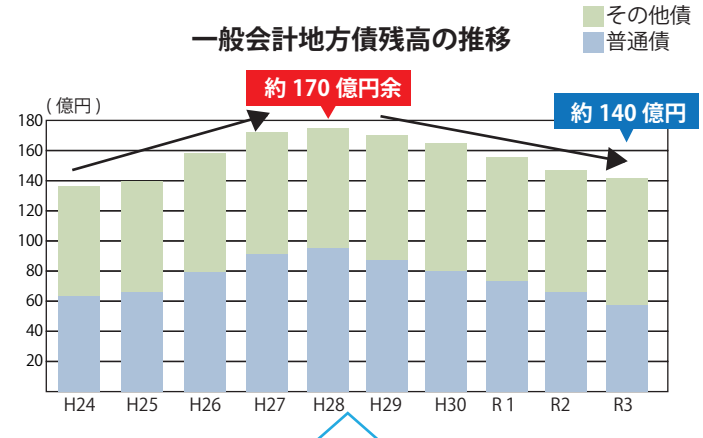
①富里市の財政は　⇒　改善し、健全な方向へ向かっています。
しかし、今後の財政計画が更に大事です。特に公共施設の建て替えの準備など。

私が市へ主張している事

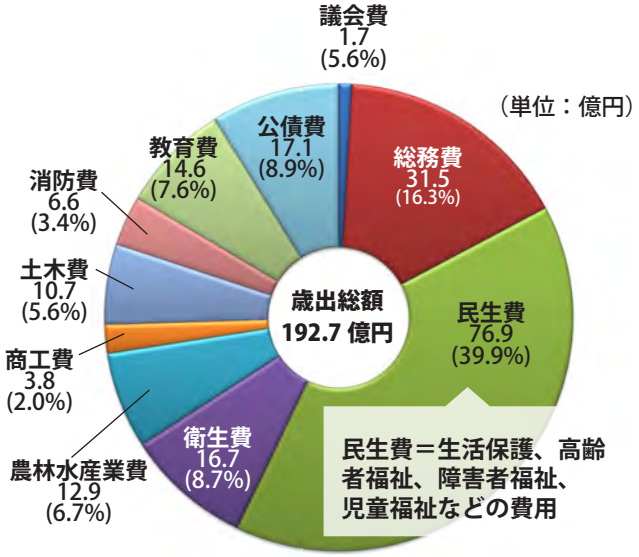
過去に新保健センターと給食センターの建て替えや、こども園新設などで大きな起債（借金）をし、厳しい財政運営が続いてきましたが、五十嵐市長になってから、借金は毎年**２億５千万円まで**しかしない、との方針を継続し、収支の改善にとりくみ効果がでてきています。**累積の借金総額は減り、貯金（基金）も積み増してきました。**（下図）
また、収入アップの為に、土地の有効活用による税収増の策として、「市街化区域の用途見直し」「市街化調整区域の規制緩和」「合弁会社とみさとエナジー」設立による電気料金削減策など、進めています。

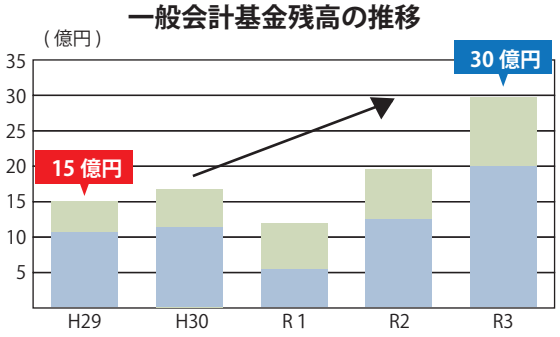
市役所や学校などの地震対策は一旦、耐震補強工事が済み、その後、修繕・修繕で手当して何とか乗り切っています。
今後、**本格的な建て替えに備えて、資金を準備しないといけません。**公共施設の維持管理への明確な計画が大事です。
また、グラフにあるように、支出の大半が**民生費**（社会補償関連）です、市民が元気でいる事が支出の抑制になります。
市民が健康で元気である施策（いきがいづくり・運動・食事・健康管理の指導）が大事です。

市の動向と現状



過去 10 年間の地方債残高（借金合計）の推移のグラフです。
平成 28 年をピークに総額が減少してきています。改善されています。





富里市の一般会計の基金残高（貯金）の推移です。基金（貯金）順調に積み立てられてきています。**特に財政調整基金**は、台風被害などの**緊急時**に活用され**自由度の高い大事な貯金**です。20 億あれば、少し安心できる貯金の額ですが、しかし毎年、この貯金から繰り入れて予算を何とか組んでいますので、安定的に継続した積み立てが課題です。

②子ども達の放課後の居場所が必要、と主張してきました。
⇒現在、徐々に整備が進んできています。

・七栄小・富里小へ学童
・そして更に放課後こども教室⇒全ての小学校へ

私が市へ主張している事

家庭の事情等で、放課後自宅などで過ごす事ができない児童が増えてきています。
学童の充実、放課後の教室を使った学習サポート、放課後地域の市民（大人達）と学校内で授業以外の体験をする場が必要です。
そこで４月から始まった、**地域学校協働活動**（コミュニティスクール）を活用して欲しいと主張してきました。

市の動向と現状

その後、小学校児童が放課時間、帰宅までを過ごす**学童保育**に関しては・・・・
七栄小学校に設置され、富里小学校内にも追加設置されました。
また来年から富里小学校敷地内に専用の学童施設を建てる計画です。

また、地域の方々や市民団体等と、勉強以外のいろいろな体験ができる**放課後こども教室**は・・・今まで、年に数回だけ、第一小学校、根木名小学校、浩養小学校だけだったのですが、富里小学校でもスタートしました。
残るは・・・七栄、日吉台、南、の３小学校。是非取り組むべきです。
引き続き主張していきます。

③福祉部門が連携して市民に対応する事が大事。
複雑な問題を抱える、生活困窮者の相談が増えています。

・・・富里市も一つの窓口で総合的な相談ができる体制が進んできました。

私が市へ主張している事

困難を抱えた市民からの**相談が複雑化**、**多様化**してきています。以前だったら親戚や隣人で面倒を見ていただいていた事が、少子高齢化や世帯の孤立化で、市が相談対応しなければならない事案が増えています。
例として・・・40 代の女性、離婚し、障害をもった児童がいて、80 代の認知症の父親の面倒をみているが、コロナ感染の影響で、飲食店の仕事が無くなり、貯金は無し、生活費は父親の年金 5 万円だけ・・・
このようなケースでは、市の福祉部門全体と、また関連する社会福祉協議会、地域包括支援センターとの情報共有、連携が必須です。・・・このような体制と連携を市に求めています。

市の動向と現状

富里市は「**包括的な相談支援体制の充実**」を目標に掲げて、昨年から今年にかけて積極的に体制を調えてきています。**ワンストップ「総合相談窓口」**を設置しました。またも妊娠・出産・子育てについて相談できる**「子育て世代包括支援センター」**も設置されました。
市は、今後さらに連携を深めていく方針です。
このような体制に対し、市民からも迅速丁寧だ、との評価を声を耳にします。
今後も更に、市民の声を伝えていきます。

④富里市の緑豊かな自然環境は宝です。「里やま」の森林環境の再生は特に大事。

市は、昨年から積極的に、荒れた森林の再生に取り組んでいます。

私が市へ主張している事

根木名川と高崎川流域の「里やま」は貴重な生態系と景観を維持しています。
朽ちた木、倒木などで荒れて景観美観のよくない杉林などから、落葉広葉樹の
クヌギ・コナラなどに植え替えする仕組みの促進が大事です。落葉広葉樹は若葉が茂り、
花が咲き、実がなり、葉が落ちます。鳥がきて、昆虫が集まり、落ち葉が肥料になり、保水効果も上がり、環境にやさしい
癒される場所となります。地球温暖化対策に期待されて**太陽光パネルの設置とのバランス**を保った開発指導が大事です。

市の動向と現状

市では現在、地主さんの理解と合意を得ながら「**富里市森林再生プラン**」
という画期的な、森林再生への取り組みを進めています。

⑤これからの富里、多文化共生、外国籍の市民との交流が大事です。

私が市へ主張している事

国際交流の在り方について、市へ求めてきました。市内には**外国籍の市民が 2900 人程**住んでいらっしゃいますが、
市内イベントも会う機会が少なく、交流が十分とは言えません。殆どがアジア系の方々です。
同じ市民ですから、**相互交流が大事**です。もっと積極的なお誘いのアクションを市がとるべきです。

市の動向と現状

現在、市役所の中で正式な「事業」と位置づけられました。秋から「多文化共生」の為に
まず**市民参加のシンポジューム開催**から、取り組みが始まっています。

⑥高齢者の医療、特に訪問診療が受けられる体制づくりが必要です。

市内に訪問診療医が活動する拠点づくりを主張しています。

私が市へ主張している事

訪問介護サービスは充実してきましたが・・・高齢化が進む富里市、訪問診療の体制整備が
急務です。**市内拠点つくり**を市へ主張しています。コロナ感染拡大に伴って訪問診療の
体制整備のニーズが増えていますし、また在宅で（病院でなく自宅などで）緩和ケア、
終末ケアを受ける方が増えてきます。

市の動向と現状

現在、成田市や酒々井町などの近隣からきていただいているのが現状です。
市内に**訪問診療医**の招致を急ぐべきです。引き続き、主張していきます。

⑦公共施設を市民が使いやすいものへ。

私が市へ主張している事

現在、市の施設では、休日は休館、閉館は 5 時 15 分、予約は直接窓口へ・・・など
「市民の立場にたっていない、**使いにくい、予約が大変**、他の自治体はもっと便利」・・の声がありました。
管理している「管理運営組織」「管理を依頼している指定管理者」と連携して**改善工夫を指摘してきました**。

市の動向と現状

市は 10 月から社会体育館等の**オンライン予約**ができるように改善しました、大きな進歩改善です。
これからも他の施設「**福祉センター、北部・南部コミセンなど**」も同様な改善が進むように求めていきます。

⑧市民の移動手段の確保が急務、新しいデマンド交通は大きな改善です。
合わせて、自動走行の電気自動車の活用を・・・

（広報とみさと号外 2022.9.1 より）

私が市へ主張している事

以前から、市内を自由に走りまわる**自動走行型の電気自動車**の取り組みを提案してきました。維持費が安く、運転者の人件費もいらない、小型・小回り OK、他の自治体では実証走行が進んでいます。免許返納、自動車を手放す、などで移動手段に困る高齢者が増えています。持続可能な移動手段への確保、準備が大事です。

市の動向と現状

今年 10 月から富里市では移動手段として「**デマンド交通**」をスタート。
以前より圧倒的に使いやすい移動手段を導入しました。大きな改善です。
乗降ポイントからポイントまでタクシーで移動、70 歳以上は自宅まで来てくれて、自宅まで送ってくれます。・・・そこで、更に進んで、自動走行の電気自動車で有償ボランティアや NPO が同乗しサポートするようなビークルの活用も併せて検証していくべきです。

⑨末廣農場、期待される観光拠点、最初の 1 年が勝負です。

成功するには、・・・やはり富里ならではの特徴、個性を打ち出す事

私が市へ主張している事

指定管理者は、プロポーザル方式、という提案型の内容を、市が厳選して選定されたものです。
「この事業者なら任せられる」と市が判断した、「提案」をしっかり実行していただく事が大事。
指定管理者と市は「目的意識を共有して」、より来場者に満足していただける体制を強化していただきたいです。

市の動向と現状

週末のイベントなど、集客や対外的な PR に努力しています、素晴らしいし活気あるものです・・・しかし。やはり、本質は「美味しいと評判になるメニュー」「買いたくなる、紹介したくなる、魅力ある商品の品揃え」です。

⑩末廣別邸公園（旧三菱岩崎家別邸跡）を市民に愛される公園へ

魅力は・・・やはり、派手さ、華やかさ、ではなく・・質素な品格だと思います。

私が市へ主張している事

岩崎久彌の住まい、**六義園**（文京区）や**旧岩崎庭園**（台東区）は豪華な庭園、建築物で有名です。
しかし久彌が晩年過ごした**富里の別邸**は、**質素な品格ある自然と調和した「たたづまい」**です。
里山、谷津の起伏ある地形を活かした、元来地元に生息していた草木の景観を活かしたつくりで、野趣あふれ、自然を愛した思いを伝える貴重な空間です。**富里の原風景を思わせる自然的価値**が魅力です。

岩崎久彌

市の動向と現状

市は、このコンセプトで魅力ある整備を進めていくべきです。公園つくりの為の全体計画はありますが、資金が不足して進みが遅いのが実態です。以前から指摘するように、「**ふるさと納税**」を活用すべきです。現在ふるさと納税の収支は **3000 万円**のマイナス（持ち出し）です。寄付の目的が不明確だから、他の自治体へ税金が流れています。

発行者：富里市議会議員　井上 やすし

●昭和 30 年 (1955 年)9 月生まれの羊年
●富里小学校、富里中学校を卒業
●佐倉高等学校 卒業
●武蔵工業大学 電気工学科 卒業
（現　東京都市大学）
●本田技研工業の技術研究所にて
四輪自動車の設計を担当
●アメリカに本部を置く
外資系企業の日本支部にて勤務
●平成 27 年富里市議会議員選挙に当選 (3 期目)

〒286-0221 千葉県富里市七栄 650-195
電話番号：0476-92-5683

留守の場合は、メッセージをお残しください。
帰宅しだいご連絡いたします。

公式 HP もぜひご覧ください。　https://inoueyasushi.com　井上　富里　検索